真宗大谷派
東本願寺
Shinran 750th

今、
いのちが
あなたを
生きている

女と男のあいあうカルタ

ことば集

女性室広報誌 あいあう

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念号

発行にあたって

このたび、女性室では「男女両性で形づくる教団」をめざして、『女と男のあいあうカルタ（ことば集）』を発行することになりました。女性と男性が対等で平等な関係を生き、性差別の問題をより身近な課題として考えていくために、五七五調のことばと絵にして表現しました。

これらは女性室で開催している第八回（二〇〇七年）から第十回（二〇〇九年）までの「女性会議」や日豊教区、久留米教区、京都教区の委員会などで作られた約二百句をもとに作成したものです。

私たちは一人の人間として生まれてきたはずなのに、いつの間にか「女のくせに」「男らしく」など性別によって固定された先入観が身につき、それらにとらわれて生活しています。「御同朋」という教えのことばから、どのような関係を生きることが願われているのでしょうか。

この冊子は、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として発行されました。如来から賜った信心を「貴賤・緇素を簡ばず、男女・老少を謂わず」（『真宗聖典』二三六頁）と述べられた親鸞聖人のお心を憶念し、「女らしさ・男らしさ」に縛られず、一人ひとりの存在を認め合い、共に解放される関係が開かれてくることを願っています。

二〇一一年二月

※緇素【しそ】…僧と俗人。道俗。

もくじ

contents

女と男のあいあうカルタ

ことば集

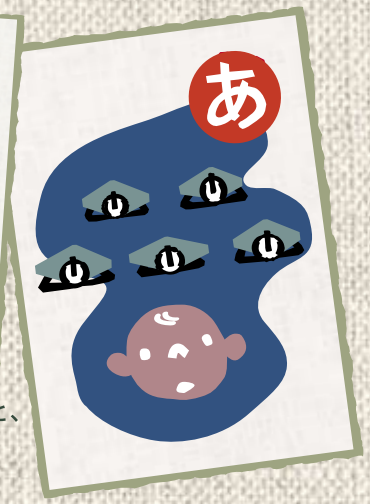
02　発行にあたって
03　もくじ
04　あ行
06　か行
08　さ行
10　た行
12　な行
14　は行
16　ま行
18　“女と男のあいあうカルタ”ができるまで
20　や行
22　ら行
24　わ行
26　番外ーあるある編
29　番外ーそりゃないだろう編
30　番外ーなるほど編
31　番外ーそうなったらいいのにな編
32　番外ーよ〜く考えてみよう編
33　みんなでカルタを作ってみよう
35　あとがき

Shall we go?

女と男のあいうカルタ

ことば集

あ行



あ 跡継ぎは まず長男と 思わされ

私たちは長男が生まれると、
跡継ぎができたと
思ってしまいます。
家や寺を継ぐとは
どういうことなのでしょうか。

い 「いたずら」と ごまかさないで 性犯罪

「いたずら」という
言葉で心の傷を
さらに広げる。
性犯罪の罪の重さを
忘れてはいけない。

う 産まれないのは 女のせいと 決めつけて

「3年子なきは去れ」と
言われた時代があった。
そもそも命を授かるかどうかは
思いのままにならないことなのに、
今でもそんな感覚が
残っていませんか。

え 絵に描いた 餅にさせない 男女共同参画

男女が共に話し合って
決めることは大事です。
それが共同参画。
でも主従関係のままでは不十分です。
自由に対等にものが言える
平等参画の関係をめざそう。

お おむつ替え だんだん父に なっていく

子どもが生まれても
すぐに親としての自覚ができる
わけではない。特に父親はおむつを
替えたりして子どもの世話をする
ことによってだんだん父になっていく。

女と男のあいあうカルタ

ことば集

か行

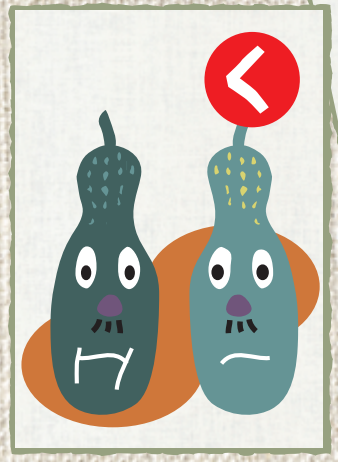
か 会長は男の人に押し付けて

「男女平等参画の実現」
を言うからには、
どんな役職がまわってこようと、
「女だから」の言い訳は
虫がよすぎるかも。

き 教区会[※1]・組会[※2]男ばかりで何決める

教区・組の行事や内容、
果ては「坊守」の規定まで
決定権は男性ばかり。
共に話し合える場を
持ちたいですね。

く 苦労して育てた住職前住(ぜんじゅう)に似て



子供は得てして
似てほしくないところばかり
親に似てしまいますね。
しかも年を取るほど、
その傾向は強くなって
いくように思うのは
気のせいでしょうか。
（前住は前住職のこと。）

け 結婚し気がついたら坊守だ[※3]

「坊守」という言葉さえ
知らずに結婚したという人も
案外多いのではないでしょうか。
住職の配偶者がすなわち坊守。
そこに私の選びはあるのでしょうか？

こ 献立は誰の好みで決めてるの

「今日の夕飯はいらないよ」
の一言になぜか
ホッとする私。

女と男のあいあうカルタ

ことば集

さ行

さ 酒の席 セクハラおやじに 変身す

わいせつ行為などの
セクハラが、酒の席なら
許されると思っている人
はまだまだ多い。
“これくらいは”という
一方的な行動が、
断れない相手を傷つける。

し 住職の 子守りじゃないのよ 坊守は

身の回りの世話をしてもらうのが
当たり前だと思っている住職と、
それを自分の仕事と
思い込んでいる坊守。
そんな関係を
変えていきたいですね。

す 好きだけで 結婚できない 家制度

家制度は単に
後継ぎということだけでなく、
家柄や宗教、思想など
様々な問題が「結婚」を
機に表面化します。

寺は開かれたお念仏の道場です。
寺を閉ざしているのは誰なのでしょうか。
世襲制に束縛されていることがつらい？
それとも心地よい？

せ 世襲制 寺は一体 誰のもの

そ 葬式で 女の坊さん 珍しい？

大谷派では男女が同じように
僧侶となれるようになりましたが、
私たちの意識はまだまだ
変わっていないようです。

女と男のあいあうカルタ

ことば集

た行

た 「誰もおらんのか！」あんたに私がなぜ見えん！

会社や家にお客さんが
訪ねてきた時、
応対に出たのが女性の場合に
よく言われる言葉。
女だからと
軽く見ていませんか。

ち

ち ちょっと待って私の予定は聞かないの？

夫は妻の都合を聞かずに
仕事や外出の予定を
立ててしまいがちだが、
妻には妻の予定が
あることをお忘れなく。

つ

つ 漬物の切り方までもチェックされ

結婚したらその家のしきたりに
合わさなければならないことが多々ある。
細かいことまで干渉されて疲れちゃう。

て

て 寺の子を演じる自分がイヤになる

「さすがお寺の子だ」と
ほめられたり、逆に
「お寺の子のくせに」と
非難されたり…。
「お寺の子」ってひとくくりに
しないでほしいな。

と

と 得度式※4何で髪剃る男だけ

「○○を買ってあげるから」と
親に言われて
渋々剃る男子もいるとか。
剃らない女子を見て、
ずるいと思うのか、
羨ましいと思うのか。

女と男のあいあうカルタ

ことば集

な行

な なぜだろう素直に聞けぬ義母の声

他の人の言葉は
素直に聞けるのに、
義母の言葉はなぜ
聞けないのでしょう。
家の中の権力構造なのか。

に ニコニコと良い嫁やるのは疲れるわ〜

良い嫁と言われたい
根性から抜け出せたら、
ラクになれるとわかって
いてもやめられません。

ぬ 脱ぎ捨てた服(衣)は自分でたたんでね

小さい時は母親が、
結婚してからは妻がしてくれるのを
当たり前だと思っていませんか。

の 乗りこえよう制度、因襲、世間体

乗り越えようと
思わなければ
何も始まらない。
まずは自分から
一歩踏み出そう。
自分が自分であるために。

ね 寝たふりをしている亭主に灸をすえ

家の中のいざこざに
知らん顔は許しません。

女と男のあいあうカルタ

ことば集

は行

は 母不在
父と子どもは
骨休め

いつも母に生活のことで
注意される父と子は、
母が留守の時、ほんのひととき
好き勝手なことをしてみたい。

ひ 一人っ子
皆の期待を
背負わされ

背負うつもりもないままに、
「あなたしかいないのよ」と
周りから期待をかけられて・・・。

へ 変だなと
思いながらも
おごられる

男性から食事を
おごられている私。
対等だと思っていたのに。

ふ 踏まれたら
その時痛いと
言いたいね

何気ない一言に本当は
傷ついていても何も言えず、
その場をにごしてしまう。
言えない空気とは何なのか。

ほ 本山へ
参るつもりが
デパートへ

本山にお参りすると家を出て、
せっかく外出できたので、
近くのデパートへついつい寄っちゃった。

女と男のあいあうカルタ

ことば集

ま行

ま 「まだ一人？」ほっといてくれ生き方だ！

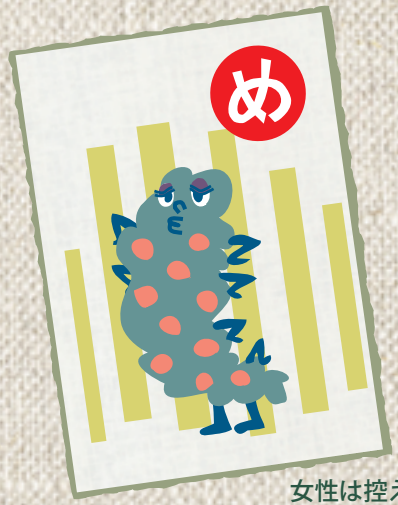
一人の「人間」として生きることに、結婚しているかどうかは関係ありますか？

み 見えないね歴史の中の女たち

歴史上に登場する人物は圧倒的に男性が多い。これまでも、そして今でも、男性中心の社会であることのあらわれではないか。

む 虫にがてそんな男がいてもいい

男性は勇敢なイメージ。男性にだって虫ぎらいの人はいます。



め 珍しい生き物ですかもの言う女性

女性は控えめが良いと思っていませんか。男女問わず、お互いに言い合える関係になれたらいいですね。

も もうやめよう「女だから」の言い訳は

責任を取りたくない時は、社会の中の女性の位置を都合によって利用していませんか？本当はできるのに。

女と男のあいあうカルタができるまで

COLLABORATIVE CARTA

2007年の第8回女性会議で初めて「ジェンダーかるた」分科会が設けられ、自分の気持ちを五七五の言葉にして表現するという試みがなされました。分科会は翌年の女性会議でも開かれ、2009年の第10回では参加者に「これぞ」という句に投票してもらいました。一つひとつの句にはたくさんの人の思いがこもっています。

1

まず市販のジェンダーかるたをしてみました。とても楽しかったです。その後、取ったカルタについて感想を述べ合いました。

2

次はいよいよ、自分たちのオリジナルを作ってみることに。ある人が「夫婦のことなんだけど…」と話すと、別の人が「それってこんな感じですか」と句にしたり、お互いに共感し合いながらすすみました。

3

「あ」から「ん」までできた句を黒板に書き出し、全体会で発表しました。参加者からは「あるある」「なるほど」などの声が聞かれました。

4

分科会での句を教区に持ち帰り、そこからまた新しい句が生まれ、二〇〇句以上になりました。

（写真は日豊教区にて）

女と男のあいあうカルタ

ことば集

や行

や やめました良妻賢母と縁の下

夫や子どもに尽くすことを
最優先にしてきたけれど、
私のために生きてみたい。

ゆ 夢かしらあなたがトイレを掃除する

ある日夫が
トイレ掃除をしていた。
後ろめたさを感じて
しまうのはなぜ？

よ よけりゃよし悪けりゃ女のせいにされ

家事、育児、
家族の健康など、
うまくできて当たり前。
何かあれば女が悪いと
叩かれてしまう。

あなたも一句、
作ってみませんか？

女と男のあいあうカルタ

ことば集

ら行

ら らしさという イメージに しばられて

女らしく、男らしく、
○○らしくという
イメージにとらわれて、
がんじがらめになっていませんか？

り 理屈言う 口があったら まず動け

家に帰ると理屈ばかり言って
何も家事をしない男性がいます。
言う前に行動に移せという
女性のつぶやき。

る ルビーも真珠も いらないわ 時間と 居場所がほしいのよ

私が求めているのは
物質的なものより、
のんびり出来る
一人だけの時間と空間です。

男優先の体質はそのままなのに、
時と場合によって女性を優先してもダメよ。

れ レディー ファースト こんな 時だけ おだてられ

ろ ロマンスは はるか彼方の アルバムに

結婚して何年もたつと、
お互いに日々の生活、
家庭内の役割に埋もれて、
出逢った頃の気持ちは
押入れの奥にしまったアルバムの中に。

女と男のあいあうカルタ

ことば集

わ

わ 割り勘で男の価値をはかるなよ

男はおごって当然という価値観ってどうなのよ。

わ行

を

を 「女の子」。いくつになっても半人前？

職場の雑用係は女性の仕事？いつまでたっても卒業させてもらえないの？

ん

ん ジェンダーの問題みんなで考えよう

ジェンダーとは社会的、文化的に作られた性差のこと。トラックの運転手や電車の車掌さんなどの職業に今は女性も増えている。「女（男）のくせに○○だ」という思い込みから解放され、自分らしく生きたい。

◉注釈

※1 **教区会** 全国を30の地域に分けた寺院の集合体を「教区」と言い、各教区の住職の代表者が集まって審議・検討する会のこと。

※2 **組会** 教区をさらに細かく分けた寺院の集合体を「組（そ）」と言い、組の住職が集まって審議・検討する会のこと。

※3 **坊守** 住職の配偶者

※4 **得度式** 僧侶になるための儀式

※5 **座次** 法要をつとめる際の僧侶の資格や座る順番

※6 **三淘和讃** おつとめの方法の一種

※7 **前坊守** 前住職の配偶者

※8 **声明** おつとめのこと（仏教の儀式で僧の唱える声楽）

※9 **導師** 葬式や法事などの法会で儀式を執行する中心となる僧

番外編 女と男のあいあうカルタ

「あ」から「ん」の五十句には入らなかったけれど、
日々の暮らしの中の女と男の気持ちは、
この他にもたくさん表現されています。
それらを番外編として、「あるある編」「そりゃないだろう編」
「なるほど編」「そうなったらいいのにな編」
「よ～く考えてみよう編」にジャンル分けしました。
あなたはどの句に共感しますか。

あるある編

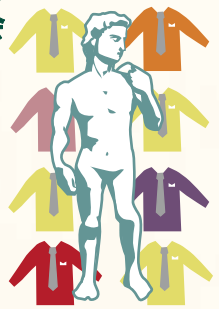
「あと任す」と
頼まれた妹も
嫁にいく

いばってる
あなたがいぬ間に
いのちの洗濯

「おい」と呼ぶ
住職一人で
やってくれ

肩書きと
地位でもの言う
上司あり

研修会
着ていく服を
出してくれ（住職）



研修会
着ていく服を
買っていい？

研修会
洋服選びで
遅刻する

スッピンは
マナー違反と
怒られて

キッチンでも
座次[5]にこだわる
住職かな

聴聞の
法座にもある
座次かな

「疲れたね～」
一緒に出かけて
ご飯の用意は
私かよ？

炊事洗濯は
誰がするのと
夫の声

さからえぬ
昔からこうなの！
という言葉

客帰り
亨主関白
終わりです

血管が
切れそうになり
三淘和讃[6]

参画する
女性の立場
まだ低い

作られた
「らしさ」を今日も
演じてる

泣いてます
踏んでることも
気づかない？

忍従を
「品格」とやらで
ごまかされ

坊守で
寺がもつとは
殺生な

「良い人(婿養子)を
もらうんだよ」と
育てられ

男がニート
ダメよダメよと
おばあちゃん

羽根ひろげ
翔んでいきたい
この場から

良いところ
見えなくさせる
嫁姑

無理をして
男の仮面を
着け続け

法事の依頼
「坊守でもいい」の
ことばにひっかかり

老いてなお
息子と張り合う
義父いとし

望まれる
女性(男性)像に
しばられて

ムコは留守
今日のごはんは
あり合わせ

そりゃない だろう編

「長男と
恋愛するな」と
母は言い

留守番は
女(坊守)の仕事と
決めつけて

おムコさん
跡取り生まれて
三くだり半

もしかして
子どもいないと
半人前？

「跡取り」の
親の願望
差別生む

がっかりだ
今日も研修会
止められた

また行くの
私の予定も
きかないで

歳聞いて
「まだいけますよ」と
意味わからん

物言わぬが
奥ゆかしさと
すりかえる

「産まれたの？」
「男の子でした」
「よかったね」

番外編

なるほど編

意思表示していないのに「前坊守」※7

他人事と思う気持ちが差別生む

人前で嫁さん何て呼べばいい？

耐えること美徳とされたのは昔の話

因習に囚われていること気づけない

愛してるだから厳しく家事教え

週末は掃除・洗濯ぼくがやる

念仏は女と男の隔てなし

セクハラをにっこり笑って注意する

めっちゃいい！女の意見を聞く男

おまえって言われたら嫌か、おまえ

平等をわかってるつもりにしていない？

番外編

そうなったらいいのにな編

ランドセル赤は女と誰が決めた

レディースデイあとはみんなメンズデイ

レディースデイ経済主導の男女平等

声明※8も共同参画ハーモニー

育休をとれる職場に明るい未来

もうやめよう上座下座（かみざしもざ）の男と女

家事育児2人でやればゆとりの時間

留守番は今日は住職よろしくね

家のパパお料理上手と子等がいい

本当です今日は私（女性）が導師です※9

子育ても介護もみんな共同で

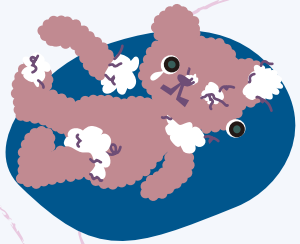
番外編

よ〜く考えてみよう編

セクハラで落ち込む前に相談窓口へ

セクハラは加害者意識の欠如から

忘れませんやったあなたは忘れても



別れが恐く暴力受けても言い出せず

男女の話それにもでないLGBT

皿洗い、したよと告げてくれる君

家の中暴力怖くて声出せず

パワハラで働く意欲根こそぎに

被害者のつもりがやがて加害者に

女性たちどこにいるのか教団史

パワハラで上司の性（さが）ではすまされず

暴力を愛情なんだと教え込む

みんなでカルタを作ってみよう

1 みんな（研修会や学習会など）でカルタの言葉を持ち寄ったり、出し合ったりする。

2 出し合った言葉を黒板などに書いて、その中から 50 音を選び出す。

3 画用紙またはカルタ用の台紙を用意する。

次へ

みんなでカルタを作ってみよう

つづき

4 選んだ言葉からイメージして絵を描いてみる。

5 画用紙に絵を描く、または絵を台紙に貼る。

Complete!

6 完成したカルタを使って、みんなでやってみよう!

※カルタの貸出しができます。ご希望の方は裏表紙に記載の女性室までご連絡ください。

女性室 HP あいあうnet より
かるた (PDF) をダウンロードして
プリントアウトすることもできます。

http://aiau-higashihongaji.net http://aiau-higash

名刺サイズ (91mm×55mm) と、かるたサイズ (A4、4 シート) があります。

『あいあう』とは…

この広報誌の名前である『あいあう』は、親鸞聖人によって書かれた『教行信証』（顕浄土真実教行証文類）「行巻」の「今みなまた会して、これ共にあい値えるなり」【真宗聖典一五九頁】という言葉から名づけられました。

「遭遇うこと難し」とか「遇いがたくして今遇うことを得たり」という言葉もありますが、いずれにしましても出遇いのよろこびが表わされているのでしょう。

日々の生活にあって、わたしたちが〝生きる〟ということを考えたとき、それは、いろいろな人と声をかけあってこそ〝生きる〟ということがなりたっているといっても過言ではありません。しかし、時にその声が届かなかったり、行き違ったり、そのためにいろいろな出会いをしていながら、まわりの人を見失っているのではないでしょうか。

いま、その出会いそのものに出遇いなおすことによって、自然に向きあうことのできるつながりを回復していきたい。『あいあう』という言葉にはそんな願いがこめられています。

あい、あう、女性室では活動を通してさまざまな出会いを積み重ねていきたいと思います。

あとがき

『女と男のあいあうカルタことば集』の増刷（第2版）にあたって

女性室では、公開講座や諸研修のなかで、楽しみながらも性差別のことを考えるきっかけになるよう、『女と男のあいあうカルタ』が活用されることを願ってきました。「発刊にあたって」に記されるとおり、『女と男のあいあうカルタことば集』は宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を記念して二〇一一年に発刊され、『カルタ』とあわせて親しまれてきました。少しずつではありますが、その裾野は広がっていることを感じます。

そのなかで、新しい句も生まれました。みなさんのコロコの声が届いたのです。そうして生まれた句は「日常のつぶやき」で、生きた言葉ともいえるでしょう。今回の増刷にあたって「番外編」を7句入れ替えています。

初版の制作には木越章子さん（能登教区）、鈴木量応さん（岡崎教区）、津垣えり子さん（日豊教区）、デザイナーの岩﨑多香子さんをはじめ多くのスタッフや教区のみなさんに協力いただきました。イラスト担当の上田文さん（久留米教区）はその後、女性室スタッフとしてさらなる活躍をいただいています。

ささやかであっても、ゆっくりであっても、いつかは大きな広がりとなっていく――、あきらめることなく、確かな歩みを続けていきたいと思っています。

皆さまのお力添えに感謝申し上げますとともに、紙面をお借りして御礼申し上げます。（女性室主任　和氣加夜）

女(ひと)と男(ひと)のあいあうカルタことば集

女性室広報誌『あいあう』
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念号
2011年 3 月 1 日　第1版第1刷発行
2014年 6 月28日　第1版第2刷発行
2018年 3 月28日　第2版第1刷発行
発行人　解放運動推進本部長　草野龍子
発行所　真宗大谷派解放運動推進本部女性室
〒600-8164 京都市下京区上柳町199
真宗教化センター しんらん交流館内
Tel 075-371-9247・Fax 075-371-9224
E-mail kaiho@higashihonganji.or.jp